

生徒一人一人に 自らの幸せな未来を切り拓く力を育てるために

『愛』 =自分とともに他者を大切にする力、豊かな人間性

『勉学』 =知識・技能、思考力、判断力、表現力、学びに向かう力

『自主性』 =新しい自分の可能性に挑戦し、よりよい社会を目指そうとする力

『健康』 =自分の心と身体の健康を把握し、その保持増進を目指す力

- 「特別の教科 道徳」では、保護者や地域の方の協力を得ながら人権尊重や生命尊重等の授業を実施していきます。
- 毎学期、生活に関するアンケートを取り、いじめの早期発見、早期解決、未然防止に努めています。
- 特別支援教育コーディネーター、管理職、各学年特別支援担当者、登校支援巡回教員、スクールカウンセラーをメンバーとして、毎週1回特別支援校内委員会を開き、生徒個々への適切な支援についての話し合いを行っています。必要に応じて保護者と連絡を取りながら支援を進めています。
- 不登校対策として、別室登校のための「いちょうルーム」を設置、登校支援巡回教員や別室登校支援員による登校支援を行います。また、特別支援校内委員会で不登校の個々のケースへの適切な支援を検討し、外部機関とも連携して対応します。学力向上パワーアップサポーターによる個別の学習指導を受けている生徒もいます。
- 数学では、習熟度別の少人数授業を実施しています。
- タブレットやホワイトボードを活用したグループによる話し合い学習を、各教科・道徳・総合的な学習の時間で、取り入れています。
- 教員の授業力向上のため、市内中学校合同で授業改善の研究授業を実施し、授業力の向上に努めています。
- 米国ノースカロライナ州の高校の生徒10名ほどが来校し、全校での交流活動をする予定です。また、年に3回実用英語検定を実施し、希望者は校内で受験することができます。2年生の2学期には東京グローバルゲートウェイでの英語活動の体験を行います。その他外国からの留学生との交流

授業も行う予定です。

- 学習に向かう習慣を育てるために、定期考査の2週間前から、学習計画表による家庭学習の指導を点検等を通じて実施しています。
- 図書室を改修し、図書館司書の協力も得ながら生徒図書委員会の活動によって、本に出合える環境を整えます。また、朝読書ですべての生徒が読書に親しむ環境を整えています。
- 「書く力」の育成のため、週1回、自分の考えを文章で表す朝学習を設定、スクール・サポート・スタッフと退職ボランティアが添削して返却する取組を行っています。
- 青少協の地域行事（みなみちゃん祭り、芋の苗植え・芋掘り、餅つきと昔あそび）に、南中生がボランティアスタッフとして大勢参加し、自己有用感・自己肯定感を高める大切な機会となっています。
- 昨年度は、美術部が地域へ取材活動に出かけたり、茶道部が南部地域センターでお点前を行うなど、地域での部活動を通して地域社会への参画意識をもつ機会を設けています。
- 校内の明るい雰囲気づくりのため、年間2回、専門委員会を中心に生徒による朝のあいさつ運動が行われています。
- 様々な活動への挑戦を奨励するため、学校内外の活動の表彰を全校朝礼で行うなど、活躍を他の生徒に紹介しています。
- 欠席等の際には、保護者と担任の連絡ソフトなども使い連絡を密にすることで、生徒の心身の状態を家庭と学校で共通に把握します。
- 毎月発行される保健だより、毎月の安全指導、保健体育の授業等で、その時々に応じて健康・安全への意識を育てています。
- 毎月1回、様々な異なる状況を想定した避難訓練を実施します。また、外部機関の協力を得て地域合同防災訓練も実施しています。昨年度は避難拠点設置の講習を地域の方と共に生徒が受けました。校内には災害時の非常食と水を生徒数分確保しています。